

守江幼・護江小だより 第7号

校(園)長 小河 正二
発行日 平成30年7月12日(木)

学校
教育
目標

ふるさとを愛し、
夢と希望に向かって
主体的に学ぶ護江っ子の育成

あなたとわたしの
夢の花をさかせよう!



大雨災害から子どもを守るために

7月6日(金)の朝のことです。7時20分「大雨警報」が杵築市に発報されました。11時29分「洪水警報」が発報され、その後、「土砂災害警戒警報」「避難勧告」が出されました。これまでに経験したことのないような雨の降り方、降り続く時間でした。

14時30分過ぎから少し小ぶりになることが分かりましたので、(気象庁の「今後の雨量」HPから)保護者の皆様には予め、緊急メール連絡網「マメール」にてお知らせし、14時45分に一斉下校を行いました。各地区方面には、教職員2名ずつが児童と一緒に下校し、見守り安全確保を行いました。

今回の豪雨による死者は126名(7月10日現在)との報道です。テレビでインタビューを受けた方が「もっと危険性の認識が強かったら助けられたのに、・・・」とのコメントを言われていました。私は心が痛む思いになりました。「まさか」(人生における「3つの坂」の内の一つ)の思いがあったということだと思います。

最近の大雨は「局地性」「ゲリラ性」「夜行性」があると言われていています。川などは短時間で水位が急上昇すること、地盤が緩み、土砂、崖崩れは発生しやすくなることが明らかになっています。杵築市の年間平均降水量は、1,467mmです。今回は降り始めから杵築地区243mm(山香地区315mm)の総雨量でした。(市危機管理課からの情報提供)

今後も、災害から子どもたちを守るために、「防災・減災～地域を守る、子どもを守る～」取り組みを学校運営協議会とともに進めていき、少しでも防災意識を高めることができればとの思いを強くしました。

災害は忘れる暇(ひま)なくやってくる。

防災標語

防災は人と自然との対話から。

7.9 大田「すずめの楽校」での体験



7月9日(月)、晴天の中、1年生12名(若杉歩波学級)と2年生8名(能武布美子学級)が大田にある「すずめの楽校」に行きました。ブルーベリーを収穫し、ジャムづくりを行いました。

ここは、旧杵築市立田原小学校小野分校の跡地を農業体験施設に活用したもので、現在は土・日開業の「Café すずめの楽校」も趣のあるものとなっています。

作りたてのジャムをクラッカーに乗せて食べ、その後は、小さな運動場でお弁当を食べたり、遊んだりしました。山の「楽校」で豊かな体験に取り組むことができました！



6.30 幼稚園夏祭り



6月30日(土)に本校体育館において、幼稚園の夏祭りが行われました。園児の皆さんがハッスルして、活躍している姿がとても微笑ましくうれしく思いました。園児・児童には、「お祭りには『感謝を伝える』意味もある。」ことを伝えました。たくさんの小学生も参加しており、お世話くださった幼稚園の保護者の皆様、また、ご参加くださった地域の皆様には深く感謝申し上げます。本当にありがとうございました。